

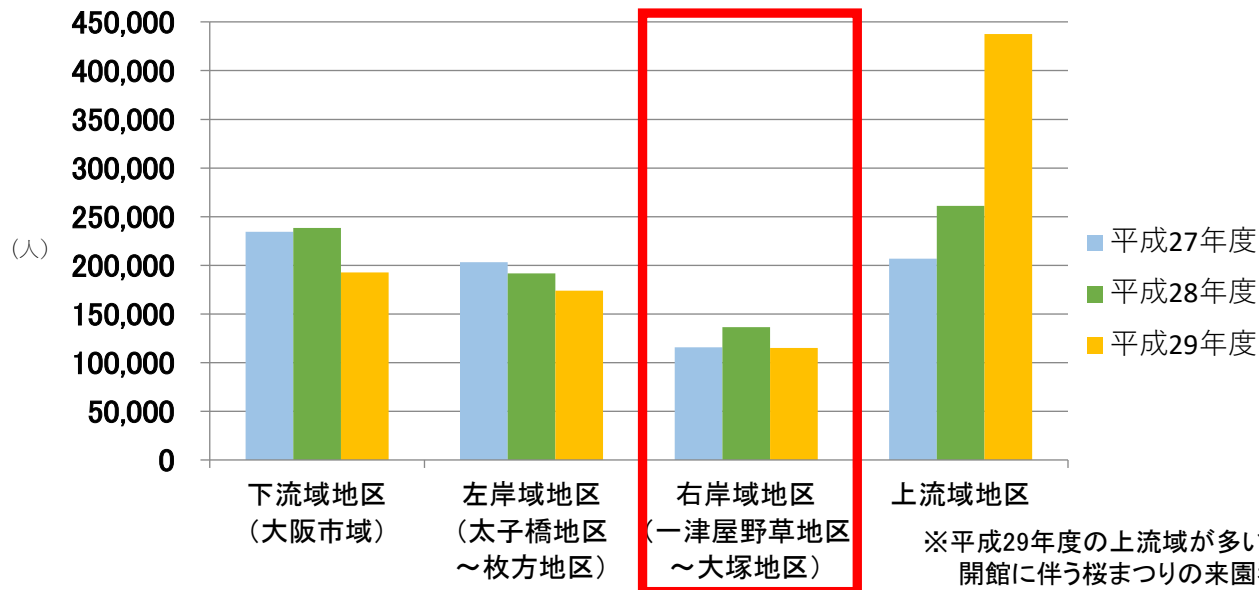
大塚地区におけるワーキングの活動状況について

中流右岸域の特性

- 【後背地】 左岸域に比べて事業所が多く、住宅地の集積が少ない
- 【アクセス】 鉄道路線や幹線道路から距離が離れ、公園と後背地が道路で分断されている
- 【公園形状】 公園地区の連担性が低く、単独で立地している
- 【公園施設】 左岸の公園と比べて運動施設が少ない

上記の特性等から、他の地区と比べて公園利用者が少ない

1地区あたり年間平均利用者数



【中流岸域の公園では】
利用者を「誘導」させることがテーマとなっている

～このテーマで取り組むべきこと～

- ・安全性（アクセス・利用）の確保
- ・公園の魅力づくりや魅力維持
- ・公園の魅力や楽しみ方を伝える

大塚地区ワーキング活動について(ワーキング設置からこれまでの活動)

大塚地区の動き

H24年度 大塚地区公園整備計画の策定

- ・ 淀川河川公園基本計画に基づき、中流右岸地域協議会が設置され、大塚地区公園整備計画を策定
- ・ 堤防道路の安全な横断方法の検討を位置づけ



H27年度 堤防階段に低草丈草種の導入を検討

- ・ 大塚地区ワーキング（検討会）の設置（レンジャー活動）
- ・ 堤防道路横断時の視認性改善のため堤防階段に低草丈草種（イワダレソウ他）の試験導入を決定



H28年度 低草丈草種イワダレソウの試験導入

- ・ 大淀野草地区の試験導入現地見学会の実施
- ・ 地域住民・高槻市・高槻警察との連携
- ・ 地元、高槻市冠中学校の協力によるイワダレソウの植栽



H29～R2年度 イワダレソウのモニタリング

- ・ 市民参画による雑草除去活動
- ・ 継続的なモニタリングの実施

R2年度 公園利用促進策の一環として野草迷路を試行

- ・ 防火帯区域を迷路状に除草
- ・ 「野草迷路」を試験的に実施



大塚地区利活用活性化プラン(R2年度の大塚地区ワーキングに提案済み)

河川敷で開催できる話題性のあるイベントを少しずつ増やし、季節ごとに何かが行われているようにする



<イベントの例>

- ・オリエンテーリング／ロゲイニング
- ・アドベンチャーレース



<イベントの例>

- ・バッタオリンピック
- ・くらわんか筏レース



<イベントの例>

- ・フィールドアート
- ・クラフトワークショップ

<イベントの例>

- ・フィールド鬼ごっこ大会
- ・電動のりものレース

